

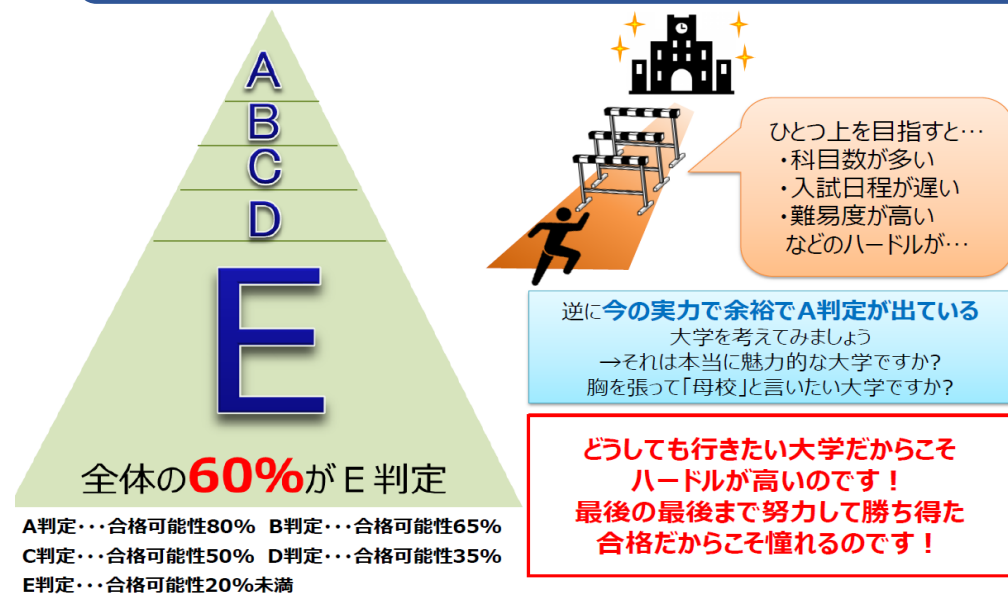
こうすれば D・E 判定からの逆転合格！！がつかめるはずです！！

11 月 13 日の共通テスト 60 日前応援集会での森先生や 3 学年主任佐藤東先生の話覚えていますか？模試の判定で「D・E 判定でも大丈夫！」とよく言われますが、本当でしょうか？実際にその判定が出ると不安になるのも事実です。本当です！！**現役生の多くは D・E 判定を経て、入試直前あたりからグンと大きく伸びます。**ただし、志望校への熱く強い思い、粘り強さ、集中力の管理、合格への執念、体調・メンタルの安定が必要です。

11 月共通テスト模試の結果から、どの科目の対策が遅れているのか、足りないのかを見極めることはできたでしょうか？まず、苦手科目、単元の克服が大切、避けていないで取り組むべきです。優先順位をつけて、教科書や参考書にもどり、過去問などの演習を繰り返す。諦めずに必要な勉強を積み重ね、弱点の克服に向けて勉強を繰り返すことで成績は必ず伸びます。

共通テストが始まると私大の入試、国公立の 2 次試験…と一気に入試本番を迎えます。これから共通テストまでは、冬休みもあり、じっくり落ち着いて学習できる最高の時期です。特に力が伸びてきた人は、**力試しとして時間を計ってやってみるのもいいと思います（結果はあまり気にしないこと、本番で合格点以上をとればいいのです）**。また出題傾向をよく分析して、自分の弱点を知り、**今後何に重点を置いた勉強をすべきかを研究する必要**もあります。認め合い、高め合うライバルの存在が困難を乗り越える力になります。

「昨日の自分をどんどん超えていく！」これが目標！



③生活のリズムは崩さないで！！

これから冬が本番を迎えます。**睡眠は削らず集中力で勝負**しましょう。共通テスト終了後は、登校日以外は自宅学習期間ですが、それでも学校の自習室や教科の先生を利用してください。家で孤独に勉強してスランプになるよりも、学校に来て勉強するのがいいかもしれません。**先生に相談し、友達に励まされて、大きく伸びる先輩**がたくさんいました。

上高はみなさんのベースキャンプみたいなものです。何かあったらいつでも質問しに来てください。

①自分と向き合しましょう

これから共通テストまで、1 か月あまり。「間に合わないのではないか」という焦りや「他の人があんなに偏差値が高いのに」という人との比較ではなく、**今自分に足りない部分を冷静に把握し、残りの 40 日でその穴を埋めるために努力をすることです。これから、自分との勝負であることを忘れないで下さい。**

②朝型の生活に切り替えよう

体が朝型に慣れるまで 2 ～ 3 週間はかかるので、昼間に勉強に集中し、夜は夜更かししないで、しっかり体を休ませる生活にシフトしていきましょう。**当然共通テストまでの学校生活は休まず遅れず、学校をフル活用することで、リズムができてきます。**上高の自習室や図書室も大いに活用して下さい。

私立大学出願の 7 つ条！！

- 1) 追加合格が出やすい前期試験で本命校+同じような学部・学科を持っている併願校を選んで受験
- 2) 共通テスト利用方式も保険として出願
- 3) 国公立型の多教科受験した人は、共通テスト 4 教科以上の入試を実施している中堅私大に出願
- 4) 本命校が後期試験を実施している場合は粘り強くチャレンジ！その際、2 月 1 6 日（日）の週が締め切りのところが多いので、前期試験の出来が不安だったら、早めに出願
- 5) 第一志望校は変えなくてもいいが、確実に 1 校は合格が取れる出願をする
- 6) 現役生は共通テスト・私大受験・2 次試験と試験を重ねるごとに経験値を上げられる。最後まであきらめずに軌道修正しながら勉強を継続する
- 7) 第一志望校に合格できないのが失敗ではない。最後までベストを尽くせなかったことが失敗である

【冬休みから共通テストまでの勉強法】

★ これからの共通テスト対策については、人によって異なります。まだまだ基礎が弱いと思う人や、**共通テストの比率が二次試験よりも高い人はすでに共通テスト重視型で学習しているでしょうし、2 次試験の配点が高い国公立大学を考えている人や、難関私立大を目指している人は、2 学期に取り組んだ演習をより深めて自分のものにする時期なので、共通テスト対策と平行して、個別試験対策を行いましょう。**共通テスト予想問題や過去の試行問題で対策を練ることは有効だと思います。私大の個別試験対策と並行して共通テスト対策をおろそかにせず、攻略するつもりで頑張りましょう。

★ 伸び悩んだら基礎へ戻れ

思ったほど伸びなくて悩んでいる人は基礎がきちんとできていない可能性がかなり高いです。**受験問題の半分以上は基本ができていれば解けるものなので、基本をていねいに学習し、暗記するところはしっかり頭に入れる勉強が必要です。**「文法をもう一度確認する」「例文をおぼえる」「公式をきちんと理解し、頭に入れる」「教科書レベルの事件や人物や大まかな年号をおぼえる」「単語数を増やす」「典型的な例題や類題の解法パターンを理解し、頭にたたき込む」などです。

入試のハイレベルの問題で混乱した場合は、基本問題をやり直すことで、頭の中が整理され、応用問題も解けるようになっていきます。自分ができない問題にぶつかったときは、必ず基本まで戻ること、実力は伸びていきます。「急がば回れ」は正しい格言です。

【共通テスト本番までにやっておくこと】

- ①**受験票の確認。**「受験上の注意」を読む
- ②**鉛筆（H,F,HB）の用意**
- ③**受験会場の確認と下見**
- ④**受験開始時間の確認**と当日のスケジュール管理
- ⑤体調管理。**追試験日の確認**

受験会場までは、もしものことを考えて、**複数の交通路線で下見**をしておきましょう。スマホでナビがあるから大丈夫と思いきや、充電が…とならないように。腕時計についても、ソーラーだから大丈夫と思いきや、フル充電ではないためなど、不測の事態にも慌てぬように準備を行ってください。

お知らせ

図書室からも受験生応援！！

何と、ありがたいことに「**2025 年共通テスト予想問題集**」河合塾（黒本）を全教科揃えて下さいました。進路室の赤本が大盛況のため、今年度初めて購入していただきました。ご利用下さい。

上高の職員の方々に 3 年生を**応援するメッセージ**を書いてもらっています。縁起物の水引を手作りで張り付けたカードも。蝶や四つ葉の結び目には表が口、裏が十の形になっています。…夢は叶うですね。1 階に掲示しますので、生徒の皆さんは楽しみに！！

レジェンド！歴代高得点大学生チューターに聞く共通テスト対策

【英語】

○共通テストの英語筆記は、長文対策に専念できるので、ある意味勉強しやすいかもしれません。また共通テスト後に受験することになる私大の入試問題で一番差がつくのも長文なので、今からしっかりと長文に慣れておくの一石二鳥です。共通テストの英語筆記はズバリ慣れです。たくさんの英文に触れるのが、一番の近道です。自分の志望大学は早稲田で、長文が難しいので、明治・立教など良問の長文を読んで練習しました。センターの過去問を練習するのもいいです。長文を練習する際、知らない単語や熟語をついでに覚えるとどんどん英語が得意になります。（72期 早稲田大学 I. R君）

○共通テストの英語筆記は長文ばかりなので、慣れていくしかありません。逆に言うと慣れれば、高得点が狙えます。これからの季節、英語は徐々に長文の問題に比重を移して行ってください。時間を計って、時間内に読める練習をするのも効果的です。（72期 青山学院大学 S. K君）

【国語】

○共通テストの過去問や予想問題を現代文・古文・漢文で5～10分あまるくらいに時間配分を考え、実践形式で解いていくのが、効果的です。古文は単語・文法・古典常識、漢文は句型・音読と単語が土台になります。文章は一行一行読むのではなく、段落ごと、さらに段落のつながり、つまりは全体の構造を意識しましょう。現代文は答え合わせのプロセスが大切。「なぜこれが間違っているのか」「どうしてこれが正解なのか」「答えの根拠はどこにあるのか」をしっかりと理解することで力がつきます。納得できないことは先生に質問しましょう。（72期 早稲田大学 I. Eさん）

○共通テスト評論の解き方

①問題の種類を見分ける

「～はどういうことか」「～の具体例はどれか」などその問いが一体何を聞いているのかを正確にとらえることで、選択肢を見る前に自分で解答を導く手助けになる。

②対比・筆者の主張をみつける

筆者が肯定していることがわかれば、文章が一気に読みやすくなる。「日本⇄西欧」「自然⇄都市」など慣れてくるとテンプレートがわかるようになってくる。

③傍線部を分析する

選択肢ばかりをみて、傍線部を流し読みしてしまう人が多いが、傍線が最も答えに近い部分である。その対比、肯定 or 否定を見分けるだけでも意味がある。

④選択肢を分析する

選択肢は、全体的に見るだけではダメ。しっかりと節で分けて、誤答になる箇所が無いか考える。一つでも違うところがあれば、他の箇所が完璧でもその選択肢は正解ではない。文章中の言葉（形容詞・副詞＝「～的」「～な」など）がどう言い換えられているかをチェックする。

⑤図・グラフの分析

共通テストの場合、図やグラフがあるので、そこから対比がわかるようになっている。

⑥解く順番やタイミングには好みがあるが、どのような解き方でも上の5つの解き方は必要。他人に勧められた方法だけで無く、自分なりの解き方を紙に書いて確立することも大事。なんとなくではなく、しっかりと紙に書こう。その中に上の5つを組み込もう！

（72期 早稲田大学 I. R君）

○古文でまず大事なのは、基本三本柱「単語・文法・古文常識(文学史を含む)」共通テストは短い時間で確実に点を取らなければいけない。ただ何となく文章を読んでいてはダメ！

○漢文は古文に似ていて、「単語・句法・漢文常識」が大事。一つでも多くの単語と句法をインプットしましょう。どちらも複数文章・資料が出てきますが、必ずリンクさせて読みましょう。見た目の量の多さに圧倒されるな。漢詩でやって欲しいことは、①種類は何か？（五言絶句など）②押韻を見つける③対句を意識する。（73期 慶應義塾大学 K. H君）



【数学ⅠA・数学ⅡB】

○長い問題文に惑わされないでください。問われているのは、今まで皆さんが授業で学んできた内容です。**おすすめは、まず数式の部分を先に見て、何を問っているのかを把握した上で、長い問題文を読む**とスムーズです。共通テストで高得点を取るためには、共通テスト形式の問題に慣れる必要がありますが、問題演習をしっかりと行い、解法のパターンを身につけていきましょう。（72期 東京理科大学F. M君）

○数学ⅠAの問題文が長い時は、問題の数値や条件が書かれている文なのか、ただの導入で問題を解く上であり関係のないものなのかを見極めなければならない。

数学ⅡBは、センターの過去問演習でカバーできる分野が多いが、グラフが多くグラフの性質を理解して欲しい。数列の問題は、問題の意味を理解して立式することが大事。共通テスト本番では、とても緊張するはずだ。その中で、問題文の意味をしっかりと読み取るには、問題文の大事なところに線を引き、問題文を2回読むのもおすすめである。共通テスト数学の攻略法をまとめると、

①文章を読んで、それを自分の知っている公式などに落とし込めるのが、勝負のカギ！

②共通テスト予想問題等で共通テスト形式に慣れる。

③解法の暗記のみでは点が取れないので、解法を理解することが大事。

④ で囲まれているところはとても大事なところだから、よく読もう

⑤問題文の誘導にしっかりと従うこと。（72期 明治大学 Y. R君）

○共通テスト数学に必要な力は、高い数学力よりも求めなければならないことを自分の知っている公式を使って、忠実に解く力です。数学の対策でチャートをやる人が多いと思いますが、共通テストの勉強なら4プロセスで充分です。4プロセスレベルの問題集で基礎レベルの問題を完璧にしていれば、あとは誘導に従うだけです。それと文章が長い問題に惑わされそうですが、実はやるべき事が単純だったりするので、4プロ→共通テストの問題演習で得点が安定してきます。4プロセスレベルを完璧にして、あとはひたすら演習しましょう。

（73期 電気通信大学 S. R君）

○解くために必要な公式は、学校で習ったものばかりなので、今持っている知識と問題の誘導を結びつける練習をする。（74期 東京都立大学 H. H君）

【歴史総合・日本史探究】【歴史総合世界史探究も同じ！】

○共通テストは、知識と流れが頭に入っていれば、どの問題も解けます。年号をひたすら暗記はやめましょう。流れが大事！ある事件が何故起こり、その結果どんな影響を与えたのか、この因果関係が大事だからです。流れをつかんでいれば、「古い順に並び替えよ」といった時代順を問う問題をスムーズに解くことができます。

資料は多いですが、大きく2つパターンがあります。

①初見史料→有名ではない史料と言うこと。したがって、よく読んで選択肢を見比べること。

②ある史料→有名で教科書・資料集・入試問題によく出ると言うこと。内容をあらかじめつかんで、覚えておきましょう。そうすれば、私大の空所補充対策も同時にできます。内容をつかんでいれば、選択肢を見比べるのに時間を使えて、時間短縮にもつながる。

③解く時のコツは、先に選択肢を読む！史料は長いし、いきなり読んでもピンと来ないから、選択肢を読んで大まかな内容をつかむ。（日本史世界史に共通ですが）、文化史や戦後史も甘く見ないで対策を取りましょう！ただの暗記ではなく理解する科目。一問一答だけやっても入試では勝てません。

（73期 慶應義塾大学 K. H君）

【物理】

○頑張って演習して、できなかったところは解説を読み、しっかりと理解したつもりなのになかなか伸びないと思っている人は多いと思います。自分のできるレベルの問題で、実際に手と頭を動かして解く練習からやり直しましょう。力学の基礎を固めると得点が安定すると思います。電磁気の問題は典型的な設問が多いので、頻出問題を中心に確実に解くことができる力を付けましょう。そこから類題に手を広げると良いと思います。

（71期 東京工業大学 A. T君）

共通テスト対策と記述対策は別物と考えがちですが、両者の対策は、7割は重なっています。**記述対策をすることで、マーク式問題の正しい選択肢を見極める眼力が磨かれます。同じように、マーク式問題の対策を高い精度で行うことで、記述式の問題を解答するときの記述力向上にもつながります。**マーク式の問題を解くときでも、感覚的に選択肢を選ぶのではなく、論理的にひとつひとつの選択肢を検討することが記述対策にもつながるのです。→規則正しい生活を送り、健康を維持することも大事な受験勉強のひとつです。最後までベストを尽くせるように、みんなで頑張りましょう！